

Hyodai Learning

兵庫 大学

ありがとうの プロフェッショナルへ。

「ありがとう」に
あふれる人生を送ってほしい、
それが私たちの願いです。

あらゆることに感謝の念を抱きながら、
仕事をさせていただくこと。
他者にこころを寄せ、
おたがいに認め合い大切にしようこと。
そして、他者とおたがいに譲りあい、助けあうこと。

すると、やがてあなた自身が
「ありがとう」という感謝の言葉を
いただくことができる専門家となります。

それこそが、私たちが目標とする
“ありがとうのプロフェッショナル”なのです。

私たちはあなたの一生を支える力を育みます。

生きる力に変わる学びを、あなたに。

上記のタグライン「ありがとうのプロフェッショナルへ。」は、
私たち兵庫大学の教育に込めた思いを表現したものです。
建学の精神の「和」を大切に、感謝、寛容、互譲の心と高度な
技術を併せもった人材の育成を学内外の多くの方々にお約
束する内容を表明しています。



「Hyodai Learning」創刊にあたって 広報委員長 木下 準一郎

兵庫大学は学生の教育を大学の最も重要な使命だと考えています。建学の精神である「和」を大切に、「人に尽くし、人のために役立つ専門職業人を育成」することを方針に掲げ、地域に貢献できる人材の育成を行っています。平成28年に現代ビジネス学部が新設され、また平成29年には健康科学部看護学科が看護学部へ改組されました。現在、本学には4学部6学科、それに短期大学部と共通教育機構があり、それぞれ特色のある教育が行われています。

本学の教育について知ってもらうために、学部・学科別に様々なパンフレット、チラシ、またリーフレット等の印刷物を作成しています。今回、新たに「Hyodai Learning」と題するニュースレターをお届けする趣旨は、各学部・学科の教育の魅力や重要なポイントをまとめてわかりやすく簡潔にお伝えし、大学全体としての教育の狙いを理解していただくことにあります。

「Hyodai Learning」を通じて、入学志願者だけではなく、高校の先生方や保護者の方々に大学を選ぶときの視点を提供し、本学とのコミュニケーションに役立つものとなることを願っています。

Hyodai Learning

VOL.01

F675-0195 兵庫県加古川市平岡町新在家2301
TEL:079-427-9551(学長室・広報委員会) E-mail:info@hyogo-dai.ac.jp

短期大学部 保育科第一部 / 保育科第三部

▶ 幼児体育A・B

幼児体育の指導方法を実践的に学ぶ授業です。前期には、学生が附属加古川幼稚園の園児と一緒に遊びます。その中で、子どもを観て、一人ひとりの性格や気持ちを理解する力が養われていきます。後期には子どもたちが積極的に運動遊びに参加できるよう、運動遊びの実践指導にチャレンジします。このような経験が、2・3年次の実習にもつながります。最初は子どもが可愛いとしか考えていなかった学生も、子どもたちと関わる経験を積み重ねることで『指導者』の顔へと変わっていきます。



共通教育機構

▶ 兵庫大学の学びと和

在学中・卒業後も兵庫大学の一人として誇りを持ち、建学の精神を胸に歩んでほしい。そんな想いから今年度よりスタートした授業が「兵庫大学の学びと和」です。建学の精神である聖徳太子の「和」の教えや仏教を学び、さらにそれらが各学科の専門教育課程・実習先・現場とどのように関係しているのかを理解することを目標としています。授業の中では、学長や学科の先生からお話をさせていただく時間も設けており、建学の精神について学びを深めることができます。



PickUp Students!

学生との交流・ボランティア活動、日本文化体験、毎日が楽しい!!

「グローバル人材の育成」を目標としている本学では、海外の提携校である韓国・国立釜慶大学より、二人の長期留学生が現代ビジネス学部で学ぶとともに、学生寮での生活やホームステイを体験しています。今回は、二人の交換留学生にインタビューを行いました。

教職員・学生の皆さん、特に学事・国際交流課と寮の皆さんのおかげで留学生生活を満喫しています。一緒に料理をしたり、韓国やK-popに興味を持っている学生に韓国語を教えたり、日本語(関西弁)を教わってもらっています。授業がない日は、一緒に神戸や大阪に遊びに行っています。寮の友達の実家に泊まりに行ったこともあります。今後半年間、勉強はもちろん、日本文化の体験や日本人との交流を積極的にしていきます。皆さん、私を見つけたら「アンニョンハセヨ」と声をかけてください。

パク ソヨンさん
(釜慶大学校国際通商学部3年生)



日本に来るまでは不安もありましたが、細かいことまで気を遣ってくださる教職員や学生の皆さんのおかげですぐに慣れました。困った時には学事・国際交流課の皆さんが対応してくださるので、とても助かっています。韓国人の先生からは、勉強のことや学校に関する様々なことを教えてもらっています。ホームステイのファミリーの皆さんには本当によくしていただいています。特にファミリーのまだ小さい子供達と毎日楽しく遊んでいます。先日、「東北・みやぎ復興マラソン2017」へボランティアとして参加しました。今日の日曜日は地域のお祭りでおこしを担ぎます。日本語だけではなく、日本の文化体験や日本人との交流を深めていきたいです。

キム ドンオンさん
(釜慶大学校日語日文学部4年生)



編集後記

記念すべき「Hyodai Learning」創刊号が発行できたのは、各学科・共通教育機構・短期大学部の魅力ある授業を紹介してくださった先生方のご協力のおかげです。表紙には、本学が掲げる教育理念やビジョンを示すタグラインである「ありがとうのプロフェッショナルへ。」を掲載しました。また、交換留学生のインタビューも取り上げています。次回は実習やインターシップなど「地域での学び」をテーマに取材等を行う予定です。情報の提供にご協力のほどお願い致します。今後も兵庫大学・短期大学部の活動を学内外に積極的に発信していきます。ご期待ください。

広報委員会ニュースレター作成チーム
(李・高見・米野・瀬川)



公式サイト



受験生応援サイト



看護学部 看護学科

▶ 看護技術論Ⅲ

目の前の患者さんの状況をしっかりと把握したうえで、今ある知識を活用し、どのように看護していくかを判断するための思考過程を学ぶ科目です。この学習を進めるには、自らの知識をベースに、判断力や実践力をつけることが重要です。そのために授業では、病院を再現したメディカルシミュレーションセンターを利用しています。看護の現場と同じ環境で、実際の仕事をアクティブに体験しながら、さまざまな状況に対応する能力を培っていきます。



生涯福祉学部 社会福祉学科

▶ 身体で学ぼう。支援すること、されること

社会福祉学科では、福祉の支援が必要な方たちに誠実に寄り添える福祉のスペシャリストを育てるために、体験学習や実習などを取り入れた授業を1年次から展開しています。その中でも入学後すぐにスタートするのが、福祉の基本を実践的に学ぶゼミナールです。この基礎ゼミナールでは、大学から東加古川駅までの車いす介助とともに、介助される側も体験することで、介助に取り組む際の心構えを学びます。さらに、駅での対応や施設整備の状況を学び、自分たちが見つけた改善点を駅長さんに提案します。



生涯福祉学部 こども福祉学科

▶ こども福祉基礎演習

1年次の「初年次演習」に引き続き、2年次には「こども福祉基礎演習」の授業があります。この授業の目的は、「学びをまとめる力」「自らの考え・学びの成果を発表する力」を獲得し、3・4年次の専門演習につなげることです。また、大学キャンパス内にある附属加古川幼稚園の授業参観を通して、現役の幼稚園教諭が作成した指導案をもとに学ぶプログラムもあり、3・4年次の保育実習や教育実習に役立つ実践力を身につけることができます。1年生と一緒に春に植えたサツマイモを収穫するのも、この演習の目玉となるプログラムです。



附属加古川幼稚園訪問



初年次・基礎演習(農園収穫実習)



健康科学部 栄養マネジメント学科

▶ 食品衛生学実験

「食中毒に関わる細菌類を自分の目で観察する実験」と「身近な食品添加物を市販品から検出する実験」を中心とした学びにより、食品衛生学の知識と技術を深めていきます。数あるテーマの中でも学生たちから特に人気があるのが、手指・手の平の雑菌検査です。この検査を経験し、食に携わるエキスパートとしての基本である「手洗い励行」の意義を体で理解することによって、「衛生管理に気をつけて調理に取り組もう」という気持ちがより一層高くなります。



健康科学部 健康システム学科

▶ レクリエーション(野外活動を含む)

健康システム学科のレクリエーションは、生涯学習と同様、スポーツや文化活動など、学生が主役となって、自由な時間を過ごせる幅広い内容になっています。今年は大自然の中でキャンプ実習を実施。参加した学生たちは、飯盒炊さんやキャンプファイヤー、登山、オリエンテーリングなど、日常生活の中では経験できない様々なプログラムに挑戦しました。レクリエーション期間中は、どの学生も生き生きとした表情でやる気いっぱい。仲間と協力しながら様々な課題を解決するなど、社会人への階段を上る貴重な経験ができました。



現代ビジネス学部 現代ビジネス学科

▶ 現代ビジネス入門

現代ビジネス学科での専門教育の第一歩となる授業。日本経済や地域社会の課題に注目しながら、人の暮らしを支えるビジネスの役割と仕組みについてしっかりと学んでいきます。講義だけではなく、「日本のビジネスならではの強み探し」や「地域のビジネスプランづくり」など、さまざまなテーマで、グループワークを中心とした参加型授業を行っています。このような授業の中で生まれた地域ビジネスプランは、旅行会社などの一般企業や観光協会に積極的に提案していきます。

